

東京都交通局

『思い出ガタゴト 東京都電 diary』が第37回新聞広告大賞受賞

日本新聞協会は9月7日、第37回新聞広告賞を発表しましたが、東京都交通局が大賞を受賞しました。

今回受賞した『思い出ガタゴト 東京都電 diary』は、東京都交通局 105 周年記念として、都営交通の誕生当初から、都民の暮らしと都市活動を支えてきた都電の歴史を次世代に語り継いでいくために、多くの方々から現在に至るまでの都電にまつわる様々なエピソードを募集し、500 の応募作品の中から 50 作品を選出して昨年 10 月から今年 2 月まで新聞紙面上で連載したものです。

都電は、明治 44 年（1911 年）に東京市電として誕生以来、長きにわたり都民の足として活躍してまいりましたが、昭和 30 年代の都電全盛期を知る人が少なくなってきている中で、当時の都電に関する記憶、思い出、エピソードなどを集め、皆様と共にその歴史を振り返るとともに、貴重な都民の資産として残し、それを未来につなげていくというのがこの企画でした。

実際に新聞紙面に掲載されたエピソードを読み、当時のことを思い出したなど、多くの方々からお声をいただき、あらためて都電が多くの人々に愛されてきたことを感じました。

今回の企画は、多くの方々の生活のそばにある「都電」の存在にあらためて気付かされ、「都電」とともに過ごした時間を未来へと繋いでいく絶好の機会になりました。

関係者の皆様、また、応募していただいた皆様には、この場をお借りして心より御礼申し上げます。そして今後とも都電へのご愛顧をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

（新聞に掲載された応募作品は下記特設サイトでご覧になれます。「東京都電 diary」でも検索できます。）

<東京都電 diary 概要>

■エピソード募集期間

平成 28 年 5 月 20 日～同年 8 月 15 日

■掲載作品

50 作品

■特設サイト

[tps://tokyo-toden-diary.jp/archives/250#top](https://tokyo-toden-diary.jp/archives/250#top)



銀座四丁目交差点を行き交う都電(1967年に廃止)